

病院
病院長様
看護部長様

第七次看護職員需給見通し期間における看護職員需要数の推計手法に関する研究の協力依頼

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、平成 25 年厚生労働科学研究費補助金「第七次看護職員需給見通し期間における看護職員需給数の推計手法と把握に関する研究（研究代表者：小林美亜 千葉大学大学院看護学研究科）」の一環として、下記の研究を計画しております。本研究の研究代表者と分担研究者の伏見清秀は、これまでも「第七次看護職員需給見通し」において、「長期的看護職員需給見通しの推計（平成 21 年度厚生労働科学研究「地域の実情に応じた看護提供体制に関する研究」）に取り組んでおります。本研究は、今後の看護職員需給見通しの策定に当たり、有益な知見を得ることに貢献すると考えております。

大変お忙しいところ、誠に恐縮でございますが、調査にご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

記

1. 研究の背景・目的

看護師等の人材確保の促進に関する法律（平成 4 年法律第 86 号）第 3 条に基づく基本的な指針において、「国は、医療提供体制等を踏まえた需給見通しに基づいて看護師等の養成を図るなど就業者数の確保に努めるべき」とされていることから、これまで、概ね 5 年ごとに看護職員確保に資する基本的な資料として看護職員需給見通しが策定されてきました。

直近の第七次看護職員需給見通し（平成 22 年 12 月策定）を取りまとめた検討会の報告書では、「よりの確な需給見通しを策定していくためには、今後、需給見通し期間に実際に生じた看護職員の需要数についても把握できるよう検討すべき」ことが提言されています。本研究は、この提言を踏まえ、看護職員需給見通し期間における看護職員の実際の需要数を推計するための方法論を検討するために行われる調査になります。

2. 研究方法

1) 調査への同意と調査票の回収について

・調査に同意いただける場合は、同封しました同意書に**本調査の施設代表者となる方（院長あるいは看護部長）**の署名をお願いします。署名した同意書は、調査票とともに、同封された返信用の封筒で、期日までに返送してください。

期日：平成 25 年 11 月 8 日

・調査事務局は、ヘルスケアリサーチ株式会社に委託しています。

2) 調査票の内容について

・同封しました調査票の設問に回答していただきます。

・設問「2」の には、貴院の『第 7 次需給見通しに係る調査〔平成 21 年 6 月 1 日時点における平成 25 年 6 月 1 日の需要人員数（予測値）〕』をあらかじめ記入してあります。「 望まれる看護職員数〔平成 25 年 6 月 1 日時点における雇用可能な範囲で想定される適正看護職員配置に基づく看護職員数〕」を記入する際の参考にするともに、 と の差を算出する際に活用してください。

3)調査票の回答について

- ・調査票の回答に際し、「第七次看護職員需給見通し」に係る調査の回答者がおられる場合、その方ができるだけ回答するようにしてください。その回答者がおられない場合には、貴病院において、本調査票に回答可能な方（例：看護部長、看護管理者や人事担当者等）を決めてください。また、病院としての回答になりますので、必要時、関係者複数名でご検討ください。
- ・調査票への回答時間は20分～30分程度になります。

3.倫理的配慮について

- ・研究にご協力頂くのも途中辞退（調査票送付後の辞退の申し出）されるのも自由です。研究に協力しない場合や途中で辞退された場合であっても、貴院の運営等に不利益が生じる事などはございません。
- ・調査票の回答は、本研究以外の目的には利用いたしません。
- ・調査票は鍵のかかるロッカーに保管し、厳重に管理いたします。また、調査票のデータを入力したファイルにはパスワードをかけ、またパスワードが設定できるUSBに保存し、管理いたします。
- ・調査結果の公表にあたって、病院名が特定できないように、匿名化を図るとともに、データを統合して集計・分析するようにいたします。
- ・委託先の調査事務局（ヘルスケアリサーチ株式会社）とは研究代表者と機密保持契約を結んでおり、情報漏洩の防止に努めます。
- ・本研究は千葉大学大学院看護学研究科倫理審査委員会による承認を得て実施しています。

4.研究成果について

- ・本研究の成果は、今後の我が国における看護職員需給見通しを策定するための方法論を検討するための資料として、活用いたします。また研究成果として、報告書、学会発表や専門学会誌等に掲載させていただく予定です。
- ・本研究の協力に際して謝礼はありませんが、研究成果を希望なさる場合には報告書を送付させていただきます。

5.その他

- ・本研究は、以下のメンバーによって行われます。
 - 研究代表者：小林美亜（千葉大学大学院看護学研究科）
 - 分担研究者：伏見清秀（東京医科歯科大学大学院・医歯学総合研究科）、白岩健（国立保健医療科学院）
 - 研究協力者：玉川淳（医療経済研究機構）
- ・回答していただいたデータについて、後日、照会させていただく場合があります。

6.照会先

- ・調査に関して、ご質問やご不明な点がありましたら、遠慮なく、研究代表者までご連絡くださいますようお願いいたします。